

MD-BT01

ワイヤレスMIDIアダプター

取扱説明書

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

| | |
|---|-------------------------|
|  | 「ご注意ください」という注意喚起を示します。 |
|  | ～しないでくださいという「禁止」を示します。 |
|  | 「必ず実行」してくださいという強制を示します。 |

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。

設置



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。

電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。



必ず実行

本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以内に近づけないでください。

本製品から発生する電波や本製品に内蔵されている磁石の磁気により、心臓ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに楽器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに楽器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

・製品から異常なおいや煙が出た場合
そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

●データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

●不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

DMI-6

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意


- テレビやラジオ、ステレオなど他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPad、iPhone、iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPad、iPhone、iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しないでください。本体が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- MIDI端子以外に差さないでください。
- 本製品を廃棄するときはお住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
本製品は、日本電波法に基づく認証を受けた無線機器を内蔵しております。
従って、本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。
ただし、本製品に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造する
 - 本製品の裏面に貼ってある証明レーベルをはがすこと

■ 無線に関するご注意

- この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
 - 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- ご使用中に同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。

お知らせ

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
-  Bluetooth®
Bluetooth® およびロゴはBluetooth SIG の登録商標であり、ヤマハ株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- Mac、OS X、iPhone、iPad、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品を、本製品に対応したヤマハ製品と接続すると、iPhone/iPad/iPod touch との MIDI データの無線通信ができます。対応の製品、アプリケーション、デバイスについては、下記ウェブサイトを開いて、モデル名を入力して検索してください。

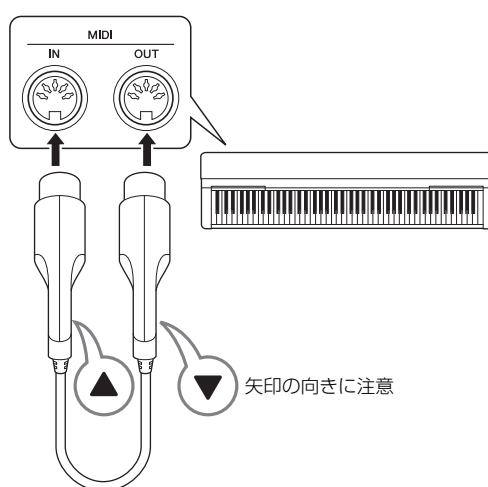
ヤマハ製品では、機能や操作性向上のために、予告なくファームウェアをアップデートすることがあります。製品の機能を十分に生かしてお楽しみいただくため、最新バージョンにアップデートすることをおすすめします。最新ファームウェアは、下記ウェブサイトからダウンロードすることができます。

ヤマハ ダウンロード <http://download.yamaha.com/jp/>

接続の手順

MD-BT01 を使って楽器と iPhone/iPad/iPod touch を無線接続する

- 1 接続する楽器の電源が切れていることを確認します。
iPhone/iPad/iPod touch 上のアプリケーションは、すべて終了しておいてください。
- 2 図のように、MD-BT01 を楽器の MIDI 端子に接続します。
注記 楽器から本製品を取り外すときは、コードを持たずに、本体部分を持って引き抜いてください。コードが破損し、故障の原因になります。



- 3 楽器の電源を入れます。
MD-BT01 のランプが点滅します。
- 4 iPhone/iPad/iPod touch の設定アイコンをタップし、「Bluetooth」をオンにします。
- 5 iPhone/iPad/iPod touch で対応のアプリケーションを起動し、無線接続の設定をします。
無線接続に成功すると、MD-BT01 のランプが点灯します。

仕様

| | |
|-------------|--|
| 色 | 黒 |
| 寸法 | 17 mm (W) × 17 mm (H) × 67 mm (D) (コネクター部を含む) |
| 重量 | 23 g |
| 表示器 | LED x 2 |
| Bluetooth規格 | Bluetooth (Ver4.0 GATT対応) Bluetooth Low Energy MIDI Specification に準拠 |
| 送信周波数範囲 | 2402~2480 MHz |
| 無線最大出力電力 | 4 dBm |
| コネクター | MIDI x 2 (IN, OUT) |
| 電源 | MIDI OUT |
| 消費電力 | 26 mW |
| 対応OS | iOS 8以降 OS X Yosemite以降のOS |
| ハードウェア要件 | Bluetooth 4.0を搭載したMac、iPhone/iPod touch/iPad |

※本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。